県内企業景気動向調査報告（２０２５年１～３月期）

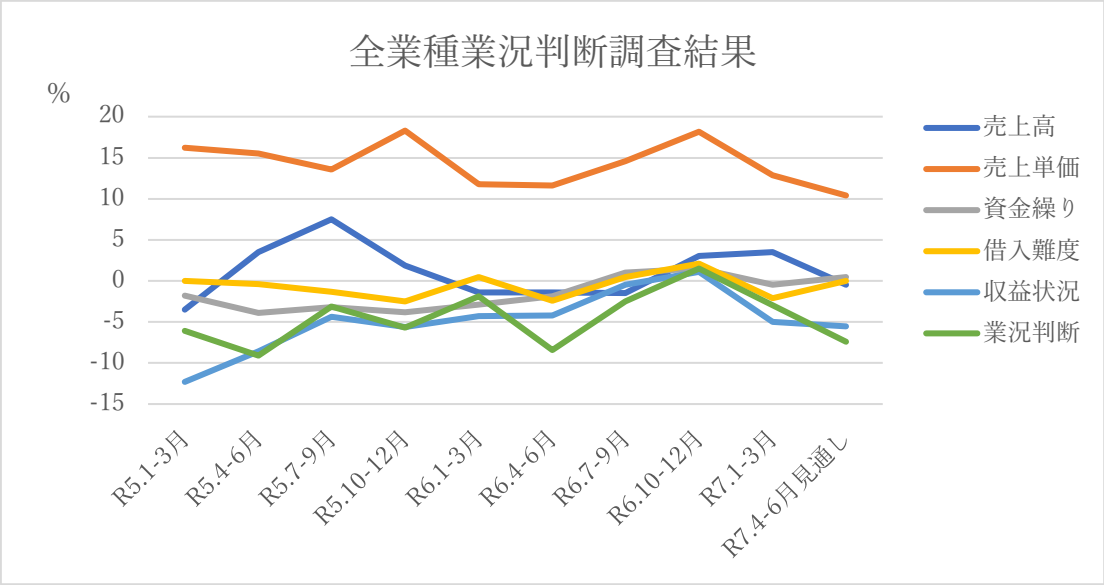
今期の「業況判断」は下降、来期はさらに下降する見通し

調査対象　鳥取県内企業（鳥取県下４商工会議所の調査による）
回 収 数　100 社【製造業 27 社、非製造業 73 社（建設業 21 社、卸売業 20 社、小売業 17 社、サービス業 15 社)】

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は、「売上高」を除くすべての項目で前期よりも下降している。最も下降を示したのは「収益状況」で、前期から 6.1 ポイント下降した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から 5.3 ポイント上昇、非製造業が 8.1 ポイントの下降を示した。非製造業は建設業以外の業種が下降傾向を示しており、最も下降が大きかったのはサービス業で、前期から 15.4 ポイントの下降となっている。

来期の見通しについては、「売上高」「売上単価」「収益状況」「業況判断」の４つの項目で下降が見込まれている。中でも「業況判断」は 4.4 ポイントと最も大きい下降が予測されている。業種別の「業況判断」では、卸売サービス業が上昇、それ以外の業種は下降する見通しとなり、最も変化が大きいと予測されているのは製造業の 18.5 ポイントの下降であった。



前年同期比＊（ ）内は2024．1～3月期の数字　　来期（2025．4～6期）見通し＊（ ）内は前年同期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	100	3.5 （ -1.4 ）	12.9 （ 11.8 ）	-0.5 （ -2.9 ）	-2.1 （ 0.5 ）	-5.0 （ -4.3 ）	-3.0 （ -1.9 ）	-0.5 （ -1.5 ）	10.4 （ 6.1 ）	0.5 （ -1.0 ）	0.0 （ -1.5 ）	-5.5 （ -7.0 ）	-7.4 （ -5.7 ）
製造業	27	20.4 （ 3.0 ）	18.5 （ 16.7 ）	0.0 （ 1.5 ）	-3.7 （ 1.5 ）	0.0 （ 9.1 ）	11.1 （ 7.6 ）	-1.9 （ 3.0 ）	14.8 （ 9.1 ）	0.0 （ 3.1 ）	-3.7 （ -1.5 ）	-1.9 （ 1.5 ）	-7.4 （ 0.0 ）
非製造業	73	-2.8 （ -3.5 ）	10.8 （ 9.6 ）	-0.7 （ -4.9 ）	-1.5 （ 0.0 ）	-6.8 （ -10.3 ）	-8.1 （ -6.3 ）	0.0 （ -4.1 ）	8.8 （ 4.7 ）	0.7 （ -2.9 ）	1.5 （ -0.2 ）	-6.8 （ -10.8 ）	-7.4 （ -8.2 ）
（建設業）	21	9.6 （ -4.8 ）	16.7 （ 0.0 ）	11.9 （ -2.4 ）	2.4 （ 2.4 ）	9.6 （ -16.7 ）	11.9 （ -9.6 ）	14.3 （ -7.2 ）	14.3 （ 2.4 ）	11.9 （ 2.4 ）	4.8 （ -2.4 ）	2.4 （ -9.6 ）	0.0 （ -7.2 ）
（卸売業）	20	-2.5 （ -7.9 ）	10.0 （ 15.8 ）	-10.0 （ 0.0 ）	-5.0 （ 2.7 ）	-2.5 （ -5.3 ）	-10.0 （ -5.6 ）	0.0 （ -5.3 ）	7.5 （ 7.9 ）	-7.5 （ 0.0 ）	2.5 （ 2.7 ）	-5.0 （ -7.9 ）	-5.0 （ -8.3 ）
（小売業）	17	-14.7 （ -9.4 ）	3.0 （ 8.9 ）	-3.0 （ -11.8 ）	-2.9 （ -9.4 ）	-20.6 （ -14.8 ）	-20.6 （ -8.8 ）	-23.6 （ -15.7 ）	0.0 （ 3.0 ）	-3.0 （ -9.4 ）	-2.9 （ -6.3 ）	-20.6 （ -20.6 ）	-20.6 （ -15.7 ）
（サービス業）	15	-6.7 （ 9.4 ）	12.5 （ 15.7 ）	-3.6 （ -6.7 ）	0.0 （ 3.4 ）	-18.8 （ -3.1 ）	-18.8 （ 0.0 ）	6.3 （ 11.8 ）	12.5 （ 5.9 ）	0.0 （ -6.7 ）	0.0 （ 0.0 ）	-6.3 （ -5.9 ）	-6.3 （ -5.9 ）

BSI＝1/2(X－Z)、 X＝上昇・増加、 Y＝横ばい、 Z＝減少・下降、 ただし(X＋Y＋Z＝100)

＜直面している経営上の問題点＞

1位：原材料・仕入価格上昇（19.80%）
2位：経費の増加（19.11%）
3位：人手不足（13.31%）
4位：売上・受注の減少（10.92%）
5位：消費・需要の停滞（8.53%）

＜業種別の問題点等＞

◆建設業

・新卒、キャリア採用共に人手不足。DX化に伴う固定経費の増大

・トランプショックで、今は先が全く見えない(材料高騰がどこまでいくのか)。

◆製造業

・技術系（エンジニア）の人材確保が進まない

・電気、ガスなどのエネルギー価格が高騰したままであり、利益率の低下を招いている。
大企業と賃金格差が際立ってきて、新卒者を獲得できない状況にある。

・後継者不足、人手不足が業界では長年の悩みです。
コロナ禍で融資を受けた取引先でも、返済が困難で倒産する取引先が増えることを不安視しておられる企業もあります。
山陰の和菓子店や和文化伝承業が元気になるよう、販売強化やコストダウンにつながる補助金、追加融資の手助けや提案を積極的に実施いただけると幸いです。

・原材料価格は少し頭を打った感はあるが、高値で推移しており、引き続き利益を圧迫している。
また、燃料価格の高騰も痛い。
尚、得意先に廃業や経営不振も増えており、売上に影響しつつある。

◆サービス業

・原材料（食材）価格上昇のため、メニュー価格を値上げせざるを得ない状況

・施設・設備老朽化

・人材、人員不足、人繰り難

・更に上がるかもしれない仕入及び販管費(人件費)の上昇。トランプ関税の影響を受け、世界不況となるかも知れず、見通しが不透明である。